

俳句

春景

木々朗

届きたる独活の香立ちし厨事
瀬戸の皿鶯餅の粉のみどり
投げ入れし香りまとえるフリージア
真つ白な風にふるえる雪柳
水音を伴奏にして春意かな

雑詠 きさらぎ 六題

細田 安治

きさらぎや 重ね着したい 衣更きさらぎづき着月
旧暦は 宇宙の季節 冬本番
立春に 水鳥騒ぎ 水ぬるむ
豆撒きや 鬼も逃げ出す 節きの別れ
寒風に 落ちるもんかと さくらの芽
気更きさらぎ季や ウミネコはしゃぐ 春の声



フリージア

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>